

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	975 狂犬病予防経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
基本 施策	14 感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	目	01	保健衛生総務費
		細目	101	狂犬病予防経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	03	狂犬病予防経費
担当部課	コード	603000		担当者 氏名
	名称	島ヶ原支所住民福祉課		
		平尾 慶旬	連絡先	59 - 2109 (内線)

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	生後91日以上経過した犬の飼い主	※対象件数
成果(どうする)	狂犬病を予防し、住民被害の未然防止になる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
関連事業		
H21 事業 内容	狂犬病予防法に定める業務 生涯登録業務／狂犬病予防集合注射の実施／野犬等の捕獲・抑留業務の協力	
社会情勢 の変化等	集合注射に関しては、年々接種率が下がっているが、獣医師での接種が増えてきている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			狂犬病予防集合注射実施回数	1	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				登録済畜犬予防注射接種率	受診率から、適切な予防啓発ができていないかを推測する。	%	目標 70 実績 74

投入 コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	15	11		30		30		
A の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
一般財源	15	11		30		30		
事業投入人件費 (B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440		
フルコスト(A)+(B)	1,455	1,451		1,470		1,470		

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を <b>100%</b> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 <b>無</b> 【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】	○
	受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	飼主の飼育マナーの啓発をさらに進める。
昨年度の取組状況	【状況】 <b>計画のとおり進んでいる</b> 【詳細】 集合注射の際の飼主への啓発に加え、防災無線での啓発を効果的に実施できた。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	川口 正仁
事業の方向性	【方向性】 <b>現状維持</b>
	【理由】 行政による畜犬の登録管理と狂犬病予防の推進ため、これまでどおり登録管理と集合注射を実施していく必要がある。
現時点における課題、その他	島ヶ原支所管内の2箇所において、集合注射を年1回開催している。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	23年度から防災行政無線放送を通じ、未登録の飼い主に対する啓発と予防注射接種の周知に努める。